

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/久保田勉

“異形の労働組合指導者『松崎明』の誤算と蹉跌”

「国鉄改革の裏側」ダイジェスト版 第14回

あの元国鉄労働課長が明かす「国鉄改革の裏側第6弾」が【異形の労働組合指導者「松崎明」の誤算と蹉跌】という本になった。本紙は筆者（宗形明氏）の了解を得て、『JR東日本革マル問題の真相と現状』をダイジェスト版として紹介することとした。



松崎明・反対尋問での受け答え その3「革マル派中央との関係について」

- ・あなたは、2000年前後頃、伊東さつき会館で学習会のようなものを主催したことがありますか。 あります。
- ・どんなことを話されたんですか。 全然覚えていませんね。
- ・その中で、本間さんや阿部さん、小林さん、新妻さん、峰田さん、こんな人たちが受講たということがありましたか。 あると思いますよ。
- ・年に数回泊まりがけで行ったりということもありましたね。 それもあったと思います。
- ・そういう中で、あなた御自身が直接今名前を挙げたような人たちに対して、革マル派中央はおかしくなっている、正当な革マル派は我々である、革マル理論を正当に受け継ぎ新たな革命党を建設することの必要性、そのための労働運動場面における実践が必要であるといったようなことを述べたことがありますか。 それはどこに記載されているのでしょうか。
- ・記載されているんじゃないです、そういうことを発言したことはありますか。 覚えはありません。
- ・そのようなことを発言しっこないということなんですか、それともそういう発言をしたかもしれないけれども覚えていないということですか。 はるか昔に何をやったかいちいち覚えていません。
- ・2000年前後のことなんですか。 あり得ないでしょうね。
- ・1966年以降に革マル派をやめているんだったら、2000前後ころに革マル派中央がおかしくなっていると、正当な革マル派は我々であるといったようなことを言うはずはないわけでしょう。 そうでしょうね。
- ・と思うも何も、そんなレベルの話じゃなくて、ありっこないということでしょう。 と思いますよ。
- ・あくまで思うということですか。 記憶にないですから。

このほか、私のような「JR東日本革マル問題」ウォッチャーにとっては、涎が出るような面白いやりとりが山盛りの松崎原告に対する反対尋問シーンであったが、割愛するしかない。私の感想を一言でいうと、松崎原告は“偽証”した疑い濃厚である。JR最大の産別組織であるJR連合は、松崎証言について次のようにコメントしている。

【…最大の核心事項である革マル派との関係について質問された松崎氏は、「共産党には党届けはあるが革マル派にはそのようなものはない」「1996年に革マル派に自宅押しかけられたが、その頃にはもう同盟費は払っていない」と証言した。しかし、松崎氏は過去、この点について「(1975年頃の)内ゲバをやっていた頃は同盟費を払っていた」「1978年の貨物安定輸送宣言の頃までは革マル派だったと思う」などと証言している。松崎氏は、過去の証言との矛盾を追及されると、「そのときは、そう思っていた」と開き直り、「この法廷で証言するにあたり、勉強し直した。いま言っているのが正しい」などと強弁した。さらに、東労組内の革マル派の存在については「革マル派は極端な主張をするので(いれば)すぐわかる」として、東労組への革マル派の浸透を指摘する政府答弁書に対しては「東労組には革マル派はいない」と断言しながら、その根拠を問われると、「いないからいないのだ」と開き直る始末であった。…】

【異形の労働組合指導者「松崎明」の誤算と蹉跌（高木書房）P.152～P.154】